

わたしと笠間 12

山岡コレクション

ヤンマーディーゼルの故山岡淳男
会長から、創業者であるお父様の明
治絵画のコレクションについて相談
があったのは、21世紀を迎えた頃で
あった。若くして社長を継いでから
業務に忙しく、倉庫に入れたままに
しているこのコレクションを、御子
息に社長を譲るにあたってどうにか
しなければならぬが、せっかくの
収集なので散逸させたくないとい
とだった。

大阪まで拝見に伺ったところ、倉
庫には数多くの作品が隙間なくぎっ
しりと詰められていた。人にお見せ
することなく保管しているだけでは
もったいないと思われたのだろう。
笠間日動美術館で収蔵して貰えない
かとの話をいただいた。

コレクションには明治美術の有名
作家である高橋由一の作品が何点も
入っており、日本
近代洋画の発展の
歴史を学べる素晴
らしいコレクショ
ンであった。早速、

傷んだ作品は修復に出し、額を入
れ替えたりして整理をした。現代に
おいて、秘蔵の明治洋画を紹介す
るのは美術館として意味のあること
であった。

当館の所蔵品となった山岡コレク
ションは、日本各地の美術館からの
貸出の要請を受け、これまでに54館
を旅している。山岡夫妻からは、コ
レクションが有意義に公開され、と
ても感謝しているとの言葉をいただ
いた。

12月から笠間日動美術館の常設
館では、高橋由一を皮切りに日本洋
画の流れをご紹介します。

笠間市出身の画家、山下
りんの作品も2点展示して
いる。ぜひ、この機会を逃
さずご覧いただきたいと思
う。

◀高橋由一「鮭図」
1879-80年



笠間日動美術館 副館長 長谷川智恵子

…今月の訪問先…

洋風笠間菓子 グリユイエール

大人気の洋菓子店を取材
してきました

地産地消の取組みについて

「地産地消」という言葉が生まれる
前から地元産の農産物で菓子作りを
始めていました。

きっかけはジャージー牛を生産し
ている前川牧場の存在を知ったから
です。ジャージー牛は現在でも少数
ですが、当時はさらに希少で、生産
自体もその周りを取り巻く環境も難
しく、相当な苦勞をされていました。
それでも信念を持って育てているこ
とと、その高い品質に感銘し、地元
の農産物のすばらしさを知りました。

現在、前川牧場はなくなってしま
いましたが、自分が生まれ育った笠間
の良さを伝えたいという気持ちが変
わることはなく、地元のすばらしい食
材を使い続けています。

左から、根本シェフ、グルメイトの
阿部 知加子さん、川上 由美子さん。

地産地消＝食べて、かさま応援！

グルメイトが行く！

地産地消応援団の「笠間グ
ルメイト」が、地産地消協
力店をレポートします。こ
の記事に関するお問合せ
は、農政課（内線527）へ。

一押し地産地消商品「笠間地栗のモンブラン」



グリユイエールの一押し商品はモンブラン。言わずと
知れた栗のケーキの代表です。

商品名のとおり、笠間産の栗が使われています。食感
が楽しいパリパリさくさくのパイ生地の上にたっぷりの
生クリーム、その上にさらにたっぷりのマロンクリーム。
まろやかな甘さが豊かな秋の実りを感じさせてくれま
す。

グリユイエールがオープンし
たのは30年前。当時はフラン
ス菓子店として開いていま
しが、笠間の食材で作った笠間の
菓子という気持ちを込めて「洋
風笠間菓子」とお店の名前に冠
したのだそうです。地元への愛
が詰まった名前ですね。



代表取締役
おもと たかゆき
根本 高行さん

住所 笠間市下市毛285

電話 0296-72-6557

営業時間 9:00～19:00

(カフェは18:00まで)



取材を終えて お話を伺って、強く印象に残ったのは、人との出
会いを大切にしてきたから、今につながっているのだろうな、と
いうことでした。楽農工房のプロデュースや五穀ロールの誕生秘
話からも、人と人とのつながりを大切にされてきた根本さんの人
柄がうかがえます。取材をとおして、地産地消にこだわった新た
な商品づくりへの意気込みを感じました。

取材にご協力いただける地産地消協力店を随時募集しています